

プロポーザル方式における特定結果書

- | | |
|---------------------------|-------------------------------|
| 1 業務名 | 瀬戸内海のクルーズ振興に向けた海外クルーズ市場動向分析業務 |
| 2 所属事務所 | 四国地方整備局港湾空港部 |
| 3 方式(〇〇型プロポーザル方式) | 簡易公募型プロポーザル方式 |
| 4 技術提案書の提出要請日
または選定通知日 | 令和7年9月17日 |
| 5 公示日 | 令和7年8月27日 |
| 6 特定通知日 | 令和7年10月22日 |

技術提案書提出者	特定の有無	特定されなかった理由
(一財)国際臨海開発研究センター	○	

プロポーザル評価表

1. 件名 瀬戸内海のクルーズ振興に向けた海外クルーズ市場動向分析業務
2. 所属事務所 四国地方整備局港湾空港部
3. 技術提案書の特定通知日 令和7年10月22日

業 者 名		技術評価点の内訳			技術評価点 合計	備考
		配置予定技術者の 経験及び能力	特定テーマ			
			特定テーマ1	特定テーマ2		
	評価のウェイト	50	170		220	
(一財)国際臨海開発研究センター		20	151		171	特定
デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー(同)		－	－		－	辞退

公募型・簡易公募型プロポーザル方式における選定結果書

- | | |
|-------------------|-------------------------------|
| 1 業務名 | 瀬戸内海のクルーズ振興に向けた海外クルーズ市場動向分析業務 |
| 2 所属事務所 | 四国地方整備局港湾空港部 |
| 3 方式(〇〇型プロポーザル方式) | 簡易公募型プロポーザル方式 |
| 4 公示日 | 令和7年8月27日 |
| 5 選定通知日 | 令和7年9月17日 |

参加表明書提出者	選定の有無	選定されなかった理由
(一財)国際臨海開発研究センター	○	
デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザリー(同)	○	

【令和7年度 公募型・簡易公募型競争入札方式、公募型・簡易公募型プロポーザル方式、公募型・簡易公募型総合評価落札方式業者選定資料】

予算区分		港湾	
件名	瀬戸内海のクルーズ振興に向けた海外クルーズ市場動向分析業務		
業務概要・数量	本業務は、瀬戸内海におけるラグジュアリー船等の中小型クルーズ船による更なるクルーズ振興を図るため、海外の中小型クルーズ市場の最新の動向やエーゲ海などの先進事例を調査・分析した上で、瀬戸内海の更なるクルーズ振興方策の検討を行うものである。 ・計画準備等 1式 ・海外の中小型クルーズ市場の動向分析 1式 ・瀬戸内海におけるクルーズ振興方策の検討 1式 ・成果物 1式		
		業務区分	業務の等級
		建設コンサルタント等	A
	技術提案書のヒアリング実施日	入札予定日	履行期間
	令和7年10月9日～14日	令和7年11月4日	令和8年3月25日
			単体設計共同体
ランク：建設コンサルタント等 A等級 契約形態：簡易公募型プロポーザル方式 企業の同種業務実績：以下の①及び②を実施した業務(①、②は別件業務で可) ①クルーズ振興に関する検討を行った業務 ②クルーズ船に関する海外事例の収集を行った業務 企業の類似業務実績：クルーズ振興に関する検討を行った業務 特定(評価)テーマ：本業務において、海外の最新の動向や先進事例を踏まえた、クルーズ振興方策を検討するにあたっての課題、着眼点及び解決方法について 技術者の資格：・技術士(総合技術監理部門(建設)又は建設部門) ・博士(業務に該当する分野) ・APECエンジニア(業務に該当する分野) ・土木学会特別上級土木技術者、土木学会上級土木技術者又は土木学会1級土木技術者 ・RCCM(港湾及び空港部門)又は同等の能力を有する者(技術士部門と同様の部門に限る。)。但し、港湾関係の実務経験が3年以上ある者 ・発注者が上記と同等であると認めた者 技術者の同種業務実績：企業と同じ 技術者の類似業務実績：企業と同じ			

[illegible]